



中京大学スポーツ科学部 講演会

「東京オリンピック・パラリンピック に向けたスポーツ科学の役割 —スポーツ科学部の学生に期待すること—」

《講師》 平野裕一 国立スポーツ科学センター 副センター長

あるスポーツ種目の発展には、「選手を増やす取り組み」と「選手を育てる取り組み」が必要です。後者の「育てる取り組み」において、競技力を高める指導、故障を防ぐ指導は順調に進んでいるのでしょうか。これらは指導者の責任であり、選手やそのスポーツへの想い、コーチングスキル、さらにコーチング内容を決めるために必要なそのスポーツの知識は指導者に欠かすことができません。

そして、その知識についてはスポーツ科学が1つの拠り所となると考えます。これらを備えた指導であれば、「選手を増やす取り組み」は自ずと成果を得るでしょう。

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツ科学を1つの拠り所とした指導がどこまで広まるのか。その一翼を担う国立スポーツ科学センターの役割についてお話しいただきます。多くの学生・大学院生・教職員の皆様のご来聴をお待ちしております。

《日時》 2014年12月4日(木)
17:00 ~ 18:30

《会場》 豊田キャンパス 411教室



《講師プロフィール》 国立スポーツ科学センター
平野 裕一 HIRANO Yuichi 副センター長



- 東京大学大学院修了後、東京大学教育学部助教授などを経て、2005年より国立スポーツ科学センター科学研究部主任研究員
- 日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会委員、日本オリンピック委員会情報・医・科学専門委員会委員を兼任
専門分野はスポーツバイオメカニクス、トレーニング科学
- 元東京大学硬式野球部監督